（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　フェリチタ

公表日　2026　年　7　月　14　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	スペースを狭めるようなものは指導室には置いていない。	今後も継続
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	0	国の決まりの2倍配置している。	今後の継続
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	世田谷区のバリアフリー条例の基準を満たしている。	今後も継続
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	掃除、消毒を頻繁に行っている。	今後も継続
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	なっている。不安定さを感じるときには、指導員側から安定できる場所の提供を誘いかけている。	今後も継続
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	全員で毎日、前日と当日に通所する児童のケース会議をしている。	今後も継続
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0 未記入１	全員で時間をかけて行っている。	今後も継続
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日行っている。	今後も継続
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0 未記入４	第3者による外部評価は行っていないが内部で微に入り細に入り話し合いを行っている。	今後も継続
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	確保している。積極的に声をかけ、研修の時間を設けている。	今後も継続
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	している。	今後も継続
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	している。	今後も継続
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	している。	今後も継続
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	9	0	している。	今後も継続
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	している。	今後も継続
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	計画原案を保護者に見ていただき、了解を取り、ほかに付け加え等がないか、必ずお聞きしている。	今後も継続
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	全員で行っている。	今後も継続
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	工夫している。	今後も継続

の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	左記のように作成し、支援している。	今後も継続
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	必ず行っている。前日と当日に行っている。	今後も継続
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	9	0	その日の支援終了後と、翌日に行っている。	今後も継続
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	行っている。	今後も継続
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	行っている。モニタリング原案を立てるときに記録を確認し、詳しい内容を指導員に確認して、原案ができた時に全員で確認している。	今後も継続
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9	0	行っている。	今後も継続
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・そもそも、契約前に見学体験を行っているが本人の意思を確認し、それでも決められない場合には、1日通しての体験を行っている。 ・日々の支援の中で行っているが、イベントなどでは児童の希望を聞いて計画している。	今後も継続
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0 未記入１	・フェリチタは正規職員が4名なので、全員が児童のことをよく理解しおり、できる限り全員が出席するようにしている。	今後も継続
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0 未記入１	・詳しい支援内容が他の放課後等デイサービスとは違うので地域の知名度は低いが、フェリチタから働き掛け、広げている。	今後も継続
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・行っている。 ・区立のある中学校に面談を申し込んだが、「普通学級の生徒しかいない部活動が忙しい」との理由で、受けてもらえなかったケースがあった。	担任が変わった時に面談をしていただき、フェリチタの支援について説明してご理解いただいた。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1 未記入３	・支援事業所とは行っているが、保育園等にも広げていきたい。	今後広げていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1 未記入３	支援福祉サービスに移行した児童はいない。	今後対象児童がいれば行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	7	0 未記入２	行っている。	行なってはいるが、相手はこちらでの本人の様子が知りたいだけというケースも多く、また、質問しても「本人には会っていないので保護者から聞いただけ」の情報ということもあった。時間を設け、本人や家族などのことについても話し合いたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0 未記入１	区立中学校の茶道部のお子さんたちと茶道体験を通して年に4回ほど行っている。	今後も継続
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0 未記入１	世田谷区上北沢地区の自立支援協議会に参加している。	今後も継続今後も継続
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳やメール、電話を通して行っている。	今後も継続
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	行っている。	今後も継続
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に1時間以上かけて行っている。	今後も継続

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	特に進路については本人の希望を聞きつつも、本人委はいろいろな意味で判断できないことが多いので、家庭の考え方、保護者が希望する支援を行っている。	今後も継続
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	9	0	必ず原案をもとに対面で行い、疑問や質問、付け加えたいこと等ないかお伺いしている。	今後も継続
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	相談には必ず速やかに応じ、児童発達支援管理責任者だけでなく、全体をみて支援している社会福祉士、児童指導員も参加している。	今後も継続
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0	・保護者会はなるべく参加できるように1日を2回に分けて行っている。 ・フェリチタは小学校1年生から高校3年生までが在籍し、その御兄弟となると年齢差も生活もお休みの日も様々で兄弟の交流の設定は難しい。しかし、ご兄弟の関係については、面談の折などにお話しさせていただいている。	・保護者ともに仕事を持っているケースがほとんどなので、保護者会に集まれる方は少ない。どう調整していくか、難しいところである。 ・先の理由で兄弟会は難しい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・区の指定指導係が明らかな「苦情」と判断し、フェリチタに連絡してきたケースはない。保護者からの御相談や御要望に対しては真摯に受け止めているものの、「納得できないできない」と感じていると思われるケースに対してはあらかじめ、区の指定指導担当に連絡し、予想される苦情と、その対応について指示を得ている。	今後も継続
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	行っている。	今後も継続
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	十分留意している。	今後も継続
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	配慮を行っている。	今後も継続
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2 未記入２	地域に開かれた事業運営をどのようにとらえるかによっても違うが、行事に地域住民を招待することは、個人情報上からも防犯上、行っていない！	左記「行事に地域住民を招待することは、個人情報上からも防犯上からも、行っていない！」これからも行わない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	毎月行っている。	今後も継続
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	行っている。	今後も継続
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0 未記入１	・健康上の配慮事項に関しては比上院の指導員にも必ずお伝えしています。 ・必要なことに関しては、非常勤にも必ず伝えています。	・予防注射等に関しては個人情報に関わることなので、配慮すべきことがある方だけに聞いている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0 未記入１	・フェリチタでは飲食物の提供はしていませんが、お弁当や自分で持ってきたおやつの交換は絶対しないことと、食物アレルギーのあるお子さんは、ほかの児童とは席を話し、飲食中は目を離さないことを徹底している。	今後も継続
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	行っている。	今後も継続、見直しを行う。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9	0	予定表にて周知している。	今後も継続
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	している。	今後も継続

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	している。	今後も継続
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・一般的な身体拘束等については利用者の契約時に全員にお話ししているが、身体的拘束を行う可能性のある児童については、個別支援計画に明記するとともに。別の同意書を作成し、サインをいただいている。	今後も継続